

## もの言う牧師のエッセー 第176話

## 「お帰り、黒田投手」

ヤンキースからフリーエージェント(FA)となった黒田博樹投手が、年棒4億円で広島復帰したことに心を熱くした日本人は多い。メジャーで活躍した選手が日本球界に復帰すること自体は珍しくないが、これまで復帰した選手はいずれも選手として峠を過ぎている観が否めなかった。だが彼は昨季11勝9敗。日本人メジャーリーガー初となる5年連続2ケタ勝利。それがいかに驚くべきことであるかは、これまでの日本人投手による復帰前メジャー最終年での成績が、吉井理人(2002年エクスボズ)の4勝、伊良部秀輝(2002年レンジャーズ)、石井一久(2005年メッツ)の3勝だったことから明白である。

さらに、3年間在籍したヤンキースが再契約を望んだことはもちろん、複数の球団が獲得に乗り出し、特にパドレスは広島の5倍にもなる1800万ドルを提示したほどに彼はメジャー残留を望まれた。「僕がここにいられるのはカーブのおかげ。ファンの方たちにも感謝しています。いずれ日本に帰るならカーブしかない」と、かつて涙ながらに語っていた彼。

いっぽうの広島は、1993年にFA制度が導入されて以来、川口和久、江藤智、大竹寛が巨人、金本知憲と新井貴浩が阪神に移籍。さらに黒田がドジャース、高橋建がブルージェイズへ流出。逆にFAで獲得した選手は1人もおらず、こんなチームは12球団でカーブだけで、みるみる戦力は低下。1998年から15年連続Bクラスに低迷し辛酸をなめたが、黒田が渡米して7年間、彼が以前つけていた背番号15番を誰にも与えず空席にして待ち続けて来た。「悩みぬいた末、野球人生の最後の決断として、プロ野球人生をスタートさせたカーブで、もう一度プレーさせていただくことを決めました。今後も、また日々新たなチャレンジをしていきたいと思います」と黒田。ついに彼らが再会を果たしたのを見て、

**「もし、あなたが帰って来るなら、わたしはあなたを帰らせ、わたしの前に立たせよう。」**

**エレミヤ書 15章 19節、**

と聖書に再三登場する、神が人に呼びかける“帰還のメッセージ”を思い出した。神から離れ我が道を歩き出した人類。そして再び神と再会したのがクリスチャンと呼ばれる人々である。だがその後多くの場合、人は教会に行かなくなったり信仰から脱落したりする。しかし、悩みぬき最後の決断した結果、新たなチャレンジをするのが本当のクリスチャンである。 2015-3-26

